

全東京写真連盟 撮影会写真コンクール

入賞作品集



審査対象 水元公園菖蒲まつり浴衣撮影会

撮影日 2024年06月02日

審査日 2024年08月03日

審査員: 増田賢一先生



金賞
「花は白く」
小幡 大輔 様
モデル 彩兎宇 すず

審査員：増田賢一先生 講評

見た瞬間、今回のトップ間違いなしと思った程でしたが、結果その通りになりました。図抜けて美しく丁寧な作品です。まず表情とポーズの捉え方、日本人形のような所作をベストな角度から狙えています。多骨傘の集中線のような効果で自然に柔らかな表情に視線を誘導してくれています。これに腰のシナリでも加われば最高でしたね。そして構図とロケーションの生かし方、花を天にあしらい頭上の空白を埋めると共に、華やかさを演出しています。



銀賞
「届かぬ想い」
佐久間 裕史 様
荒木 祐里香

審査員：増田賢一先生 講評

菖蒲まつりながら、菖蒲バックの作品が少なくなりがちなか中、この作品は上手い仕上がりを見せました。横顔を狙うというのは意外と難しく、輪郭線、感情や視線の向きなど見極めが重要になってきますが、この作品は指示が上手く、コミュニケーションもよく取れてますね。少し上を向いた表情の気持ちの乗せ方が自然で、さらに左の物語る空間を取っているのも高ポイント。背景の菖蒲田のボカし方と顔の明るさとのバランスも上手いです。



銅賞

「私の好きな季節」

谷本 修一 様

モデル 宗像 茜衣

審査員：増田賢一先生 講評

とにかく目を引いたのは女性のラインを中央に置きつつ、それを取り囲むように配置された紫、そのバランスが絶妙です。大きい傘の主張が強いのでバランスを取るのが難しいところですが、斜め狙いにする事でちょうどいい面積です。若干右サイド広めにすると、さらに良くなったと思います。しっかり全身のシルエットを美しく捉え、ソフトフォーカスで白を強調しているのもナイス。ちょっと剽げた表情も可愛らしく狙えてます。



入選
「しとやか」
荒井 秀雄 様
モデル 美冬



入選
「忍ぶ雨」
小倉 良二 様
モデル 彩兎宇 すず



入選
「重厚な傘」
河村 徳助 様
モデル 宗像 茜衣



入選
「まぼろしの女」
寺島 弘行 様
モデル 彩兎宇 すず



入選
「夏の涼」
井原 亮祐 様
モデル 美冬



佳作
「菖蒲田・小雨」
湯原 章綱 様
モデル 佐野 なぎさ



佳作
「雨の木道」
石川 玲 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「Loneliness to learn to love」
門間 正之 様
モデル 美冬



佳作
「想い」
山田 栄一 様
モデル 彩兎宇 すず



佳作
「笑顔が撮れた」
斎藤 貴生 様
モデル 宗像 茜衣



佳作
「夏姿」
内藤 勝之 様
モデル 荒木 祐里香



佳作
「雨降る午後」
小野寺 基之 様
モデル 彩兎宇 すず



佳作
「浴衣美人」
猿田 善和 様
モデル 宗像 茜衣



佳作
「みつめる先は」
片桐 研一 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「水も滴るイイ女」
岸野 孝博 様
モデル 宗像 茜衣



次点
「梅雨の季節」
菅原 道久 様
モデル 彩兎宇 すず



次点
「雨の舞台」
高橋 敏之 様
モデル 彩兎宇 すず



次点
「襟足のきれいな女（ひと）」
滝本 憲一郎 様
モデル 加藤 季恵



次点
「振り返る」
田沼 靖信 様
モデル 彩兎宇 すず



次点
「わたしの水無月」
巻口 敏也 様
モデル 加藤 季恵



次点
「名を聞かれて」
村岡 雅之 様
モデル 宗像 茜衣



次点
「花舞台」
及川 昭夫 様
モデル 本多 瑠花



次点
「見得を切る」
伊能 信一郎 様
モデル 本多 瑠花



次点
「祭りの娘」
北条 善久 様
モデル 加藤 季恵



次点
「kind heart」
星野 祐一 様
モデル 加藤 季恵

<全般講評>

今回は天気があまり良くなく、衣装も浴衣とあって、なかなか動きも出しにくい条件だったみたいですね。撮る側も撮られる側も雨の中、大変だったと思います。しかしそれが、逆に工夫の見せ所となって、意外なほどにバリエーション豊かな作品が並んだように見えました。特に雨に感しては季節柄、逆にマッチしたところもあって、草木や棧道の濡れ感を生かすなど、目の付け所がいい作品も見られました。

増田賢一